

(様式例第11)



鹿医発事100501号  
令和1年10月 5日

都道府県知事 殿

住所 鹿児島県鹿児島市城山町8番1号  
申請者 氏名 院長 田中 康博

独立行政法人国立病院機構鹿児島医療センターの地域医療支援病院の業務報告について

標記について、医療法第12条の2の規定に基づき、平成30年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒152-8621 東京都目黒区東が丘2-5-21
氏名	独立行政法人国立病院機構

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

独立行政法人国立病院機構鹿児島医療センター
-----------------------

3 所在の場所

〒892-0853 鹿児島県鹿児島市城山町8番1号 電話 (099) 223-1151
---

4 病床数

精神病床	感染症病床	結核病床	療養病床	一般病床	合計
床	床	床	床	410床	410床

5 施設の構造設備

施設名	設備概要
集中治療室	(主な設備) 救急蘇生装置、除細動器、体外式ペースメーカー、心電計、ポータブルエックス線撮影装置、呼吸循環監視装置
化学検査室	(主な設備) 多項目生化学自動分析器、グルコース自動分析器、全自動電気泳動装置、自動酵素免疫文責装置、尿自動分析装置、血液ガス分析装置、自動血球計数装置、血液線溶分析装置
細菌検査室	(主な設備) 全自動細菌検査システム、全自動血液培養検査装置、培養恒温庫
病理検査室	(主な設備) 光学顕微鏡
病理解剖室	(主な設備) 解剖台、臓器撮影装置、電気鋸、臓器計量器、殺菌灯
生理検査室	(主な設備) 心電計、超音波診断装置
研究室	(主な設備) 全自動細胞解析装置、マイクロプレートリーダー解析システム、画像処理システム、遺伝子増幅装置、リアルタイムPCR定量システム、蛍光微分干渉顕微鏡システム、倒立型位相差顕微鏡システム、安全キャビネット
講義室	室数            2室                    収容定員            100人
図書室	室数            1室                    蔵所数                3,000冊程度
救急用又は患者搬送用自動車	(主な設備) 酸素ポンプ、シリンジポンプ、輸液ポンプ、救急医薬品 保有台数            1台
医薬品情報管理室	[専用室の場合]                    床面積            10.54 m <sup>2</sup> [共用室の場合]

(注) 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器等を記入すること。

(様式例第12) 他の病院又は診療所から紹介された患者に対し医療を提供する体制が整備されていることを証する書類及び救急医療の提供実績

1. 地域医療支援病院紹介率及び地域医療支援病院逆紹介率

地域医療支援病院 紹介率	88.2%	算定 期間	平成30年 4月 1日～平成31年 3月 31日
地域医療支援病院 逆紹介率	93.4%		
算出 根拠	A : 紹介患者の数		8,014人
	B : 初診患者の数		9,087人
	C : 逆紹介患者の数		8,488人

(注) 1 「地域医療支援病院紹介率」欄は、AをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。

(注) 2 「地域医療支援病院逆紹介率」欄は、CをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。

(注) 3 それぞれの患者数については、前年度の延数を記入すること。

(様式例第13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

No.	職種	氏名	勤務の態様		勤務時間	備考
		別紙1のとおり	常勤 非常勤	専従 非専従		
			常勤 非常勤	専従 非専従		
			常勤 非常勤	専従 非専従		
			常勤 非常勤	専従 非専従		
			常勤 非常勤	専従 非専従		
			常勤 非常勤	専従 非専従		
			常勤 非常勤	専従 非専従		
			常勤 非常勤	専従 非専従		
			常勤 非常勤	専従 非専従		
			常勤 非常勤	専従 非専従		
			常勤 非常勤	専従 非専従		
			常勤 非常勤	専従 非専従		
			常勤 非常勤	専従 非専従		
			常勤 非常勤	専従 非専従		

2 重症救急患者のための病床の確保状況

優先的に使用できる病床	376床
専用病床	29床

(注) 一般病床以外の病床を含む場合は、病床区分ごとに記載すること。

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考
1	医師	中島 均	常勤 非専従	8:30~17:15	
2	医師	片岡 哲郎	常勤 非専従	8:30~17:15	
3	医師	久保 忠広	常勤 非専従	8:30~17:15	
4	医師	高崎 州亜	常勤 非専従	8:30~17:15	
5	医師	楠元 啓介	常勤 非専従	8:30~17:15	
6	医師	福永 研吾	常勤 非専従	8:30~17:15	
7	医師	平峯 温子	常勤 非専従	8:30~17:15	
8	医師	鎌田 博之	常勤 非専従	8:30~17:15	
9	医師	立志 公史郎	非常勤 非専従	8:30~15:00	
10	医師	藺田 正浩	常勤 非専従	8:30~17:15	
11	医師	塗木 徳人	常勤 非専従	8:30~17:15	
12	医師	田中 秀樹	常勤 非専従	8:30~17:15	
13	医師	東 健作	常勤 非専従	8:30~17:15	
14	医師	田上 和幸	常勤 非専従	8:30~17:15	
15	医師	平峯 聖久	常勤 非専従	8:30~17:15	
16	医師	山下 恵里香	常勤 非専従	8:30~17:15	
17	医師	石川 裕輔	常勤 非専従	8:30~17:15	
18	医師	馬場 善政	常勤 非専従	8:30~17:15	
19	医師	祭 榮鴻	常勤 非専従	8:30~17:15	
20	医師	金城 玉洋	常勤 非専従	8:30~17:15	
21	医師	向原 公介	常勤 非専従	8:30~17:15	
22	医師	川津 祥和	常勤 非専従	8:30~17:15	
23	医師	藏元 慎也	常勤 非専従	8:30~17:15	
24	医師	白桃 雄太	常勤 非専従	8:30~17:15	
25	医師	松岡 秀樹	常勤 非専従	8:30~17:15	
26	医師	脇田 政之	常勤 非専従	8:30~17:15	
27	医師	宮下 史生	常勤 非専従	8:30~17:15	
28	医師	平嶺 敬人	常勤 非専従	8:30~17:15	
29	医師	谷合 洋造	非常勤 非専従	8:30~15:00	
30	医師	谷口 歩	常勤 非専従	8:30~17:15	
31	医師	川野 弘人	常勤 非専従	8:30~17:15	
32	医師	菰方 輝夫	常勤 非専従	8:30~17:15	
33	医師	海江田 衛	常勤 非専従	8:30~17:15	
34	医師	吉川 弘太	常勤 非専従	8:30~17:15	
35	医師	夢田 宣裕	常勤 非専従	8:30~15:00	

### 3 重症救急患者に必要な検査、治療を行うために必要な診療施設の概要

施設名	床面積	設備概要	24時間使用の可否
特定集中治療室	401.52㎡	(主な設備) 救急蘇生装置、除細動器、体外式ペースメーカー、心電計、ポータブルエックス線撮影装置、呼吸循環監視装置	可
緊急検査室	631.80㎡	(主な設備) 多項目生化学自動分析器、自動血球計数装置、血液凝固線溶分析装置、血液ガス分析装置、心電計、保冷库、遠心機、尿自動分析装置	可
MRI室	78.56㎡	(主な設備) 磁気共鳴断層撮影装置	可
CT室	67.49㎡	(主な設備) マルチスライスコンピュータ断層診断装置	可
救急治療室	118.79㎡	(主な設備) 人工呼吸器、自動血圧装置、心電図モニター、除細動装置	可

### 4 備考

平成26年7月11日指令鹿地福第71-1号により救急病院に認定

(注) 特定の診療科において、重症救急患者の受入体制を確保する場合には、その旨を記載すること。

既に、救急病院等を定める省令(昭和39年厚生省令第8号)に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院、救急医療対策の設備事業について(昭和52年7月6日付け医発第692号厚生省医務局長通知)に基づき救急医療を実施している病院にあつては、その旨を記載すること。

### 5 救急医療の提供の実績

救急用又は患者輸送自動車により搬入した救急患者の数	2,093人 (1,485人)
上記以外の救急患者の数	1,589人 (639人)
合計	3,632人 (2,124人)

(注) それぞれの患者数については、前年度の延べ数を記入すること。

括弧内には、それぞれの患者数のうち入院を要した患者数を記載すること。

### 6 救急用又は患者輸送用自動車

救急用又は患者輸送用自動車	1台
---------------	----

(様式例第14) 地域医療従事者による診療、研究又は研修のための利用(共同利用)のための体制が整備されていることを証する書類

1 共同利用の実績

共同利用件数 2,024件(内訳:CT 1,398件、MRI 350件、RI 276件)  
 うち特別な関係にない共同利用件数 2,010件(内訳:CT 1,386件、MRI 349件、RI 275件)  
 利用医療機関 544施設(うち特別な関係にない利用医療機関 542施設)  
 共同利用に係る病床利用率 86.0%

(注) 前年度において共同利用を行った実績がある場合において、当該前年度の共同利用を行った医療機関の延べ数、これらの医療機関のうち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数、共同利用に係る病床の病床利用率を明記すること。

2 共同利用の範囲等

- ・建物全部
- ・CT、MRI、血管連続撮影装置、RI
- ・上記に付随する器械及び器具一式

(注) 当該病院の建物の全部若しくは一部、設備、器械又は器具のうち、共同利用の対象とする予定のものを明記すること。

3 共同利用の体制

- ア 共同利用に関する規定の有無  有・無 別紙2  
 イ 利用医師等登録制度の担当者 氏名:前田 曜佑  
 職種:企画課 外来係

(注) 共同利用に関する規定が有る場合には、当該規定の写しを添付すること。

4 登録医療機関の名簿

医療機関名	開設者名	住 所	主たる診療科名	地域医療支援病院開設者との経営上の関係
別紙3の通り				

注 当該病院と同一の2次医療圏に所在する医療機関のみ記入すること。

常時共同利用可能な病床数	5床
--------------	----

独立行政法人国立病院機構鹿児島医療センター開放型病院運営規程

(目 的)

第1条 独立行政法人国立病院機構鹿児島医療センター（以下「病院」という。）は、地域中核病院として従来の責務に加えて、患者中心の一貫性の医療ならびに協定医師会 会員の生涯教育・研修のために、病院の開放、高度医療機器の利用、さらに相互の医学 研修など病病、病診連携により充実した医療を地域住民に提供することを目的とする。

(登 録 医)

第2条 開放病床利用を希望する医師は、鹿児島医療センター地域医療連携室（以下「連携室」という。）に登録を行う。病院は登録医証を交付する。

2. 登録期間は4月1日から翌年3月31日までの1年とする。ただし、双方異存がない場合は、自動更新するものとする。

3. 登録医は、自己の都合で登録の取り消しを申し出る場合、この旨を連携室に申請する。

(身 分)

第3条 登録医は病院の組織には所属しないが、医長または主治医との連携のもとに病院職員に対して指示することができる。

(責 務)

第4条 登録医は病院の諸規則、規程を遵守するとともに、所定の名札を着用するものとする。

2. 病院の主治医は診断治療の責任をもつものとする。

(紹介、外来、入院の手順)

第5条 患者紹介、入院の手順、入院の可否の決定は各診療科と登録医の合意によるものとする。

ただし、外来検査のみ希望の場合は、あらかじめ日時を予約することができるものとする。

(診 療)

第6条 登録医は、医長または主治医との連携のもとに、紹介した入院患者を診察し、検査や治療に参加することができる。

ただし、次の事項を遵守するものとする。

(1) 診察のために来院するときは、医事課（時間外は管理当直）備え付けの名簿に記入するものとする。

(2) 診療時間は、原則として午前9時より午後8時までとする。

(3) 診療を行うときは、病院の方針を遵守するものとする。



(退院の手順)

第7条 患者の退院に際し、主治医は必要に応じ、登録医と退院後の治療方針について協議する。また、登録医は主治医から入院経過及び結果の報告を受けるものとする。

(研究会、研修会等)

第8条 登録医は病院で行う研究会、研修会等に参加することができる。

病院は登録医の出席し易い研究会、研修会等を開催するものとする。

(支 援)

第9条 病院は登録医の院内活動を支援し、便宜をはからねばならない。

(実施細目)

第10条 各診療科医長は各診療科に適切な実施細目を作ることができる。この際、開放型病院運営協議会にはかり、院長の承認を得る必要がある。変更する場合も同様である。

(開放型病院運営協議会)

第11条 開放型病院の運営を円滑に行うため、開放型病院運営協議会を設置し、要綱の改正及び運営管理に関する事項を協議する。

附則 この規程は平成17年7月27日より施行する。

独立行政法人国立病院機構鹿児島医療センター開放型病院連携登録医会契約書

(以下「甲」という。)と独立行政法人国立病院機構鹿児島医療センター院長 田中 康博(以下「乙」という。)は、独立行政法人国立病院機構鹿児島医療センター開放型病院連携登録医会(以下「登録医会」という。)について、次のとおり契約を締結する。

(登録医会登録)

第1条 甲は、乙の登録医会に登録する。

(紹介患者の入院)

第2条 乙は、甲からの紹介患者の入院は、最優先として夜間や休日の受け入れにも最大限の努力を払う。

(病院施設、設備の開放)

第3条 乙は甲に対し、乙の病院施設並びに設備を以下のとおり開放する。

- 一 乙は甲からの紹介患者について、共同指導の申し出に応じ、乙の施設を開放する。
- 二 乙は甲からの検査依頼に応じ、最優先的に検査設備を開放する。

(協議)

第4条 この契約に定めのない事項、または各条項の解釈について疑義が生じたときは、甲乙協議して決定する。

(契約期間)

第5条 この契約期間は、平成 年 月 日から平成 年 月 日までとする。

ただし、契約期間満了1カ月前までに甲乙いずれか一方から何らかの意思表示をしない時は、期間満了の翌日において向こう1カ年順次契約を更新したものとする。

上記のとおり契約を締結したことを証明するため、契約書2通を作成し、甲乙記名押印のうち各1通を保有するものとする。

平成 年 月 日

甲

乙 鹿児島市城山町8番1号  
独立行政法人国立病院機構

鹿児島医療センター院長 田中 康博 ⑧

## 登録医療機関名簿

(別紙3)

No	医療機関名	開設者名	医師名	医師名のフリガナ	郵便番号	住所	主たる診療科目	地域医療支援病院開設者との経営上の関
1	宇根クリニック	宇根 文徳	宇根 文徳	ウネ フミナ	892-0811	鹿児島市玉里団地3-26-12	内・眼・神内・リハ	無
2	四本クリニック	四本 敏一	四本 敏一	ヨシキ ヨウイチ	891-0144	鹿児島市下福元町5437-2	肛・胃・呼・外	無
3	かわなべ共立内科	医療法人 雅集会	児玉 雅彦	コダマ マサヒコ	897-0221	川辺郡川辺町田部田3971	内・呼・消・循	無
4	康生クリニック	医療法人 康生	桑水流 康夫	クワズル ヤスオ	899-2502	日南市伊集院町徳重158-1	内・呼・消・胃・循・児・精・神内	無
5	中馬クリニック	医療法人 中馬クリニック	中馬 好子	チウマン コウコ	899-5652	始良郡始良町平松5801	内	無
6	今村クリニック	医療法人 緑樹会	今村 勉	イマムラ ツトム	892-0815	鹿児島市易居町1-13	内・外・放・整・麻	無
7	東開内科クリニック	医療法人 東開内科クリニック	植松 俊昭	ウエマツ トシアキ	891-0115	鹿児島市東開町3-131	内・消・循・呼	無
8	江川内科消化器科	江川 伸一郎	江川 伸一郎	エガワ シンイチロウ	892-0817	鹿児島市小川町2-2	消・内	無
9	鬼丸内科循環器科	医療法人 高圓会	鬼丸 円	オニマル マドカ	891-1105	鹿児島市郡山町6513	循・内	無
10	黒岩内科	医療法人 さくら会	黒岩 宣範	クロイワ ノブキ	899-2504	日南市伊集院町郡2丁目75	内	無
11	外山内科クリニック	医療法人 愛樹会	外山 幹樹	トヤマ トキキ	890-0003	鹿児島市伊敷5-19-25	内・呼・胃・麻	無
12	平川内科クリニック	医療法人 友心会	平川 嘉久	ヒラカワ ヨシサ	890-0067	鹿児島市真砂本町3-77	内・呼・児・消・循	無
13	福元クリニック	医療法人 友心会	福元 弘和	フクモト ヒロカズ	892-0816	鹿児島市山下町12-8	内	無
14	前田内科クリニック	医療法人 仁厚会	前田 忠	マエダ タダシ	892-0817	鹿児島市小川町9-1	内・消・循	無
15	前島医院	医療法人 前島	前島 裕幸	マエシマ ヒロユキ	891-1105	鹿児島市郡山町1308	外・内・消	無
16	小田原病院	医療法人 尚愛会	牧 猛	マキ タケシ	892-0844	鹿児島市山之口町8-1	内・消・呼・循・胃・肛・リハ	無
17	宮田内科消化器科	医療法人 孔生会	宮田 晋	ミヤタ ススム	892-0871	鹿児島市吉野町3037-46	内・消	無
18	村岡内科	村岡 敏宏	村岡 敏宏	ムラオカ トシヒロ	890-0045	鹿児島市武2丁目12-2	内・消・循	無
19	盛満医院	盛満 憲生	盛満 憲生	モリツ ノボオ	892-0875	鹿児島市川上町3444-1	消・内・児・神	無
20	山下わたる内科	医療法人 祐和会	山下 互	ヤマノ ユヅル	899-5421	始良郡始良町東餅田424-1	内・消・循	無
21	吉井胃腸科肛門科	医療法人 恵会	吉井 隆興	ヨシイ ヒロキ	890-0014	鹿児島市草牟田2-10-2	肛・胃・外	無
22	岩尾病院	医療法人 あおぞら会	中村 尚人	ナカムラ ナオト	892-0837	鹿児島市甲突町17-18	内・神内	無
23	霜出義輝内科クリニック	霜出 義輝	霜出 義輝	シモヅ ヨシテル	890-0056	鹿児島市下荒田3-39-9	内・消・リハ	無
24	村山内科循環器科	村山 隆	村山 隆	ムラヤマ タカシ	890-0041	鹿児島市城西2-6-7	内・循・児・放	無
25	市来内科	医療法人 健仁会	萩原 健一	ハギハラ ケンイチ	899-2103	いちき串木野市大里3869	消・内・呼・循	無
26	石塚レディースクリニック	医療法人 石塚 レディースクリニック	石井 裕子	イシイ ユウコ	892-0838	鹿児島市新屋敷町4-10	産・婦	無
27	伊集院病院	伊集院 吐夢	伊集院 吐夢	イシケイ インム	892-0806	鹿児島市池之上町9-27	産・婦・麻	無
28	よしながウイメンズクリニック	医療法人 よしながウイメンズクリニック	細木 康資	ホシキ ヤスシ	890-0055	鹿児島市上荒田町2-6-201	産・婦	無
29	柿木病院	医療法人 聖成会	柿木 博成	カキキ ヒロナリ	892-0846	鹿児島市加治屋町15-3	産・婦・麻	無
30	こしやクリニック	古謝 将一郎	古謝 将一郎	コシヤ ショウイチロウ	892-0845	鹿児島市西田2丁目21-3	産・婦	無
31	原口産婦人科	医療法人 広祐会	原口 裕之	ハラグチ ヒロユキ	899-4332	霧島市国分中央3丁目17-13	産・婦	無
32	みつお産婦人科	医療法人 三世会	満尾 雅彦	ミツオ マサヒコ	899-5117	霧島市隼人町見次1296-3	産・婦	無
33	フィオーレ第一病院	医療法人 碩済会	山元 慎一	ヤマモト シンイチ	899-5215	始良郡加治木町本町307-1	産・婦	無
34	有馬内科クリニック	有馬 桂	有馬 桂	アリマ カヅヲ	892-0847	鹿児島市西千石町3-21	内・消・循・児・胃	無
35	林内科医院	医療法人 昭芳会	林 芳郎	ハヤシ シノブ	899-6102	始良郡清水町中津川498	内・胃・眼・児・リハ・放	無
36	古川胃腸科クリニック	医療法人 蕨美会	古川 勉	フルカワ ツトム	891-0144	鹿児島市下福元町6091-3	胃・放・児・リハ	無
37	喜入クリニック	医療法人 喜望会	黒岩 義文	クロイワ ヨシフミ	891-0203	鹿児島市善入町6016	内・呼・消・循	無
38	プリムラクリニック	中村 教子	中村 教子	ナカムラ ナツコ	892-0842	鹿児島市東千石町1-1第8川北ビル6F	内・放	無
39	濱崎クリニック	医療法人 泰水会	濱崎 泰和	ハマザキ ヤステル	890-0046	鹿児島市西田2丁目21-4	内・循	無
40	花倉病院	医療法人 仁愛会	崎元 阿子	サキモト アコ	892-0871	鹿児島市吉野町5147	精・神	無
41	東内科小児科クリニック	医療法人 天恵会	馬場 香子	ババ キョウコ	891-2104	垂水市田神3485-1	内・循・呼・児	無
42	服部内科クリニック	医療法人 貴心会	服部 行麗	ハツリ ユキヨシ	891-0113	鹿児島市東谷山5丁目26-10	胃・消・呼・放・内	無
43	隼人温泉病院	医療法人 松城会	岩城 政秋	イワキ サヤキ	899-5111	霧島市隼人町姫城1丁目264-2	内・循	無
44	渡辺医院	渡辺 好文	渡辺 好文	ワタベ コシヅメ	899-2703	鹿児島市上谷口町2970	外・放・内・整	無
45	厚地記念クリニック	医療法人 慈風会	陣之内 正史	ジノウチ セイシ	892-0841	鹿児島市照国町12-1	放	無
46	木村外科内科	医療法人 木村外科内科	木村 俊博	キムラ トシヒロ	899-2701	鹿児島市石谷町2101-7	内・外・整・小・肛・泌・リハ	無
47	朝戸医院	医療法人 朝戸 医院	朝戸 末男	アサド スオオ	891-9112	大島郡泊町和泊14	消・整・外・内	無
48	串木野内科・循環器科	医療法人 芳清会	有川 清猛	アリカワ キヨタケ	896-0012	いちき串木野市中尾町72	循・内・呼・児	無
49	有馬新一クリニック	有馬 新一	有馬 新一	アリマ シンイチ	890-0056	鹿児島市下荒田2丁目1-1サンプラス荒田3F	内・循	無
50	有山内科医院	医療法人 瑞陽会	有山 真郎	アリヤマ マサオ	898-0054	枕崎市鹿鹿籠町33	内・循	無
51	稲森内科消化器科	医療法人 幸英会	稲森 英明	イネモリ ヒデアキ	891-0116	鹿児島市上福元町5723-3	内・消	無
52	大蔵医院	医療法人 英世会	大蔵 英世	オオクラ ヒデヨ	891-9214	大島郡知名町知名16-2	内・胃・循・児	無
53	沖野循環器科病院	医療法人 秀愛会	沖野 秀紀	オキノ ヒデキ	892-0847	鹿児島市西千石町13-30	循	無
54	小田代病院	医療法人 康徳会	小田代 卓也	オダシロ タカヤ	890-0054	鹿児島市荒田1丁目25-6	外・麻・児・胃・放・リハ・整	無
55	市比野記念病院	社会医療法人 卓翔会	黒田 篤	クロダ アツシ	895-1203	薩摩川内市福臨町市比野3079	内・循・心療・呼・消・胃・精・肛	無
56	楳村病院	社会医療法人 聖仁会	長橋 英男	ナガシマ ヒデアオ	890-0008	鹿児島市伊敷2丁目1-2	外・内・呼・消・循・婦	無
57	つかさヘルスケアホスピタル	医療法人 松祐会	松野 貞利	ヒロウ サダシ	891-0104	鹿児島市山田町441	内	無
58	小原病院	医療法人 厚生会	宮里 浩高	ミヤサト ヒロタカ	898-0003	枕崎市折口町109	内	無
59	始良市立北山診療所	始良市長	毛利 通宏	モリ ツネヒロ	899-5541	始良郡始良町北山842	内・児	無
60	今給黎総合病院	公益財団法人 昭和会	盛満 慎吾	モリツ シンゴ	892-8502	鹿児島市下巻尾町4-16	内	無
61	いぶすき内科	医療法人 南星会	湯涌堂 敏郎	ユヅウドウ シノブ	891-0402	指宿市十町2321-1	循・内・呼・リハ・放	無
62	指宿浩然会病院	医療法人 浩然会	吉永 肇文	ヨシナガ ミナズ	891-0402	指宿市十町1145	内・消・循・リハ	無
63	隼人温泉病院	医療法人 松城会	市成 浩太郎	イチナリ コウタロウ	899-5111	霧島市隼人町姫城1丁目264-2	内・循	無
64	健三郎今村クリニック	医療法人 健三郎	今村 健三郎	イマムラ ケンサブロウ	892-0816	鹿児島市山下町9-1	内・消	無
65	五反田内科クリニック	医療法人 天翔会	五反田 潤幸	ゴタンダ ムツユキ	892-0844	鹿児島市薬師2丁目7-62	呼・内・循・消	無
66	内科柴田病院	医療法人 栄心会	柴田 邦彦	シバタ ケニヒコ	892-0827	鹿児島市中町12-14	内・循	無
67	中央病院	社会医療法人 天陽会	厚地 良彦	アツチ ヨシヒコ	892-0822	鹿児島市泉町6-7	内・消・循・児・神内・外・心	無

## 登録医療機関名簿

(別紙3)

No	医療機関名	開設者名	医師名	医師名のフリガナ	郵便番号	住所	主たる診療科目	地域医療支援病院開設者との経営上の関係
68	富永内科	医療法人 青雲会	富永 裕一	トナガ ユウイチ	890-0002	鹿児島市西伊敷4丁目7-7	内・循・胃・児・神	無
69	西内科・循環器科	西 征二	西 征二	ニシセイジ	892-0842	鹿児島市東千石町13-29天文館ビル4F	循・内	無
70	浜崎クリニック	医療法人 雷光会	濱崎 泰弘	ハマザキ ヤスヒロ	899-5231	始良市加治木町反土2628	消・外・内	無
71	つみのり内科クリニック	山下 積徳	山下 積徳	ヤマシタ ツミノリ	891-0105	鹿児島市中山町5157	内・循	無
72	枕崎市立病院	枕崎市長	佐々木 健	ササキケン	898-0034	枕崎市日之出町230	内	無
73	牧瀬内科クリニック	医療法人 牧瀬内科クリニック	牧瀬 洋一	マキセ ヨウイチ	899-7302	曾於郡大崎町神領2394-1	内・呼・消・循・児・リハ	無
74	松下亮治内科	医療法人 新星会	松下 亮治	マツタ リョウジ	899-5223	始良市加治木町新生町130-1	内・循・胃・リハ・放・呼	無
75	益崎内科	医療法人 広恵会	益崎 恵文	マスザキ ケイブミ	891-0114	鹿児島市小松原2丁目22-25	内・循・児	無
76	西塚クリニック	医療法人 弘愛会	坂元 弘人	サカモト ヒロト	890-0032	鹿児島市西塚5丁目12-5-2	消・呼・外	無
77	荒田小児科医院	荒田 弘道	荒田 弘道	アラタ ヒロミチ	892-0871	鹿児島市吉野町2210-3	児	無
78	大坪こどもクリニック	医療法人 童心会	大坪 修介	オオツボ シュウスケ	890-0034	鹿児島市市田上2丁目15-11	児	無
79	鬼丸小児科すこやかクリニック	医療法人 鬼丸 小児科	鬼丸 高恒	オニマル タカノ	899-5223	始良市加治木町新生町127	児	無
80	きたはらこどもクリニック	医療法人 きたはらこどもクリニック	北原 琢磨	キタハラ タクマ	899-4343	森島市国分野町西19-31	児	無
81	昭和会クリニック	公益財団法人 昭和会	玉田 泉	タマダ イズミ	892-0852	鹿児島市下電尾町2-6	児	無
82	あいら小児科	原口 務	原口 務	ハラグチ ツトム	899-5431	始良市西餅田118-1	児	無
83	県立北薩病院	鹿児島県知事	福重 寿郎	フクシゲ シュウロウ	895-2526	大口市宮人502-4	児	無
84	うえはらクリニック	医療法人 上原会	上原 豊光	ウエハラ トヨミツ	891-1304	鹿児島市本名町1071-1	消・循・外・肛	無
85	三宅病院	医療法人 一誠会	三宅 智	ミヤケ トモチ	891-0141	鹿児島市谷山中央7丁目3-1	放・内・呼・消・リハ	無
86	池之上クリニック	馬渡 浩介	馬渡 浩介	マワタ ヒロスケ	892-0806	鹿児島市池之上町10-7	内・循・消	無
87	霧島市医師会立医療センター	霧島市長	藤崎 邦夫	フジサキ くにオ	899-5112	霧島市隼人町松永3320	消・内	無
88	川島クリニック	川島 淳宏	川島 淳宏	カワシマ スミヒロ	899-5215	始良市加治木町本町353	外・消・循・リハ	無
89	尾辻クリニック内科胃腸科	医療法人 尾辻クリニック	尾辻 真人	オウジ マサト	891-0103	鹿児島市皇徳寺台1丁目28-15	内・胃	無
90	いなもりクリニック	稲森 洋平	稲森 洋平	イナモリ ヨウヘイ	890-0046	鹿児島市西田1丁目4-15	内・消・外・肛	無
91	耳鼻咽喉科田上クリニック	医療法人 祐代会	伊東 祐久	イトウ スケヒサ	890-0034	鹿児島市市田上1丁目23-10	耳	無
92	河俣内科	河俣 仲秋	河俣 仲秋	カワマツ ナカアキ	899-5421	始良市東餅田312-1	内	無
93	はしがちクリニック	医療法人 翔南会	橋口 真也	ハシグチ シンヤ	897-0031	南さつま市加世田東本町14-14	内・胃・消	無
94	石神胃腸科内科医院	石神 信治	石神 信治	イシガミ ノブハル	899-2201	日置市東市来町湯田3261-6	内・胃・消・循	無
95	前田内科消化器科	医療法人 信愛会	前田 利宗	マエダ トシムネ	892-0816	鹿児島市山下町12-27	内・消	無
96	梅津整形外科医院	医療法人 梅津整形外科医院	梅津 龍哉	ウメヅ リウヤ	892-0875	鹿児島市川上町1959-25	整・リハ	無
97	築成会病院	医療法人 築成会	島本 純和	シマモト ヒロカズ	890-0065	鹿児島市都元2丁目11番20号	内・胃・循・外・児・リハ	無
98	朝隈耳鼻咽喉科医院	医療法人 朝隈耳鼻咽喉科	朝隈 真一郎	アサクマ シンイチ	892-0843	鹿児島市千日町9-9	耳	無
99	鯉島クリニック	医療法人 康和会	鯉島 篤史	サメシマ アツシ	891-0143	鹿児島市和田1丁目30-14	耳	無
100	まつなが耳鼻咽喉科	医療法人 信幸会	松永 信也	マツナガ シンヤ	890-0008	鹿児島市伊敷6丁目17-20	耳	無
101	おおのクリニック	医療法人 真誠会	大野 文夫	オオノ フミオ	899-5431	始良市西餅田578-2	耳	無
102	でぐち耳鼻咽喉科	医療法人 エバーグリーン	出口 浩二	デグチ コウジ	899-5552	始良市平松2678-15	耳	無
103	西園耳鼻咽喉科クリニック	医療法人 春桜会	西園 浩文	ニシノ ヒロフミ	899-5215	始良市加治木町本町249-1	耳・アレルギー・気管食道科	無
104	ふくいわ耳鼻咽喉科クリニック	医療法人 エターナル	福岩 達哉	フクイワ タツヤ	897-0006	南さつま市加世田本町22-5	耳・気管食道外科・アレルギー	無
105	池田病院(産屋)	社会医療法人 童仁会	池田 大輔	イケダ ダイスケ	893-0024	産屋市下碓川町1830	内・整形・リハ・神内・消・循・呼・リウマチ・放	無
106	たねだひ泌尿器科クリニック	種子田 洋史	種子田 洋史	タネダ ヒロフミ	892-0854	鹿児島市長田町18-11	泌	無
107	児玉上前共立病院	医療法人 千一會	児玉 千早	コダマ チハヤ	892-0855	産屋市寿5丁目2-39	内・呼・循・消・小児・皮・放	無

(様式例第15) 地域医療従事者の資質の向上を図るための研修を行わせる能力を有することの証明

1 研修の内容

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第23回城山循環器カンファレンス</li> <li>・ 糖尿病コーチングスキル勉強会 (基礎編)</li> <li>・ 鹿児島CT研究会</li> <li>・ 糖尿病とともに生きる人々への看護</li> <li>・ 第24回城山循環器カンファレンス</li> <li>・ 糖尿病コーチングスキル勉強会 (応用編)</li> <li>・ 楽しく学ぶ基礎看護技術講座「口腔ケア」</li> <li>・ 楽しく学ぶ基礎看護技術講座「看取りの看護」</li> <li>・ 第1回地域緩和ケア連携研修会</li> <li>・ 糖尿病重症化予防 (フットケア) 研修</li> <li>・ がん看護エキスパートナース研修公開講座</li> <li>・ 鹿児島CT研究会</li> <li>・ 第2回地域緩和ケア連携研修会</li> <li>・ 城山心腎連関セミナー</li> <li>・ 第25回城山循環器カンファレンス</li> <li>・ 循環器エキスパートナース研修</li> <li>・ 鹿児島CT研究会</li> <li>・ 脳卒中看護エキスパートナース研修</li> <li>・ 看護職員認知症対応力向上研修</li> <li>・ 第26回城山循環器カンファレンス</li> <li>・ 鹿児島CT研究会</li> <li>・ 医師向け緩和ケア研修会</li> <li>・ ACP研修会</li> <li>・ 鹿児島がん免疫療法サポートネットワーク (KISNet) 仮想症例webカンファレンス</li> </ul>
--

2 研修の実績

(1) 地域の医療従事者への実施回数	24回
(2) (1) の合計研修者数	1,382人

(注) 1 研修には、当該病院以外の地域の医療従事者が含まれるものを記入すること。

(注) 2 (2) には、前年度の研修生の実数を記入すること。

3 研修の体制

- ア 研修プログラムの有無  有・無
- イ 研修委員会設置の有無  有・無
- ウ 研修指導者

研修指導者氏名	職 種	診療科	役 職 等	臨床経験数	特 記 事 項
別紙4の通り				年	
				年	

(注) 教育責任者については、特記事項欄にその旨を記載すること。

(別紙4) 研修指導者一覧

研修指導医氏名	職種	診療科	役職	臨床経験年数	特記事項
中島 均	医師	循環器内科	副院長	33	
松崎 勉	医師	耳鼻咽喉科	統括診療部長	33	
城ヶ崎 倫久	医師	循環器内科	臨床研究部長	34	
藺田 正浩	医師	循環器内科	循環器内科部長	31	
内山 典明	医師	放射線科	放射線科部長	38	
平木 嘉幸	医師	放射線科	放射線科部長	34	
魚住 公治	医師	内科	腫瘍内科部長	35	
大塚 真紀	医師	内科	血液内科部長	32	
野元 三治	医師	病理診断科	病理診断科部長	30	
菰方 輝夫	医師	外科	外科部長	30	教育責任者
金城 玉洋	医師	心臓血管外科	心臓血管外科部長	32	
大渡 五月	医師	内科	血液内科医長	26	
郡山 暢之	医師	糖尿病・内分泌内科	糖尿病・内分泌内科医長	29	
山路 尚久	医師	消化器内科	消化器内科医長	19	
片岡 哲郎	医師	循環器内科	循環器内科医長	25	
久保 忠弘	医師	循環器内科	循環器内科医長	27	
高崎 州亜	医師	循環器内科	循環器内科医長	21	
楠元 啓介	医師	循環器内科		16	
福永 研吾	医師	循環器内科		14	
塗木 徳人	医師	循環器内科	循環器内科医長	25	
田中 秀樹	医師	循環器内科	救急科医長	25	
東 健作	医師	循環器内科		19	
田上 和幸	医師	循環器内科		17	
山下 恵里香	医師	循環器内科		12	
蔡 榮鴻	医師	循環器内科		10	
石川 裕輔	医師	循環器内科		9	
松岡 秀樹	医師	脳血管内科	脳血管内科医長	26	
脇田 政之	医師	脳血管内科	脳血管内科医長	22	
宮下 史生	医師	脳血管内科	脳血管内科医長	20	
千代丸 剛	医師	泌尿器科	泌尿器科医長	17	
田中 裕治	医師	小児科	小児科医長	29	
森田 康子	医師	小児科		13	
大田 俊一郎	医師	婦人科	婦人科医長	26	
谷口 歩	医師	脳神経外科	脳神経外科医長	19	
井手上 淳一	医師	放射線科	放射線科医長	23	
米谷 新	医師	麻酔科	麻酔科医長	21	
肥後 友紀	医師	麻酔科		14	
松下 茂人	医師	皮膚腫瘍科・皮膚科	皮膚腫瘍科・皮膚科医長	24	
中村 康典	歯科医師	歯科口腔外科	歯科口腔外科医長	25	
佐保 尚三	医師	麻酔科	麻酔科医長	27	
砂永 仁子	医師	麻酔科		17	
西元 謙吾	医師	耳鼻咽喉科	耳鼻咽喉科医長	25	
青木 恵美	医師	皮膚腫瘍科・皮膚科		16	
海江田 衛	医師	外科	外科医長	25	
田邊 貴幸	医師	小児科	小児科医長	23	
時任 紀明	医師	糖尿病・内分泌内科		18	
古庄 正英	医師	腎臓内科		12	
上村 康介	医師	泌尿器科		9	
川野 弘人	医師	脳神経外科		18	

#### 4 研修実施のための施設及び設備の概要

施設名	床面積	設備概要
研修センター3階	119.7m <sup>2</sup>	(主な設備) 液晶プロジェクター、スクリーン 音響機器
管理棟会議室	152.22m <sup>2</sup>	(主な設備) 液晶プロジェクター、スクリーン 音響機器、高精細カラーモニター
管理棟テレビ会議室	71.5m <sup>2</sup>	(主な設備) プラズマディスプレイ、画像転送装置、動画ビューア装置、高精細カラーモニター、OHPプロジェクター、ホワイトボードスクリーン
	m <sup>2</sup>	(主な設備)
	m <sup>2</sup>	(主な設備)

(様式例第16) 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	院長 田中 康博
管理担当者氏名	管理課長 池田 克己、企画課長 伊藤 淳司 副看護部長 友倉 三千代、薬剤部長 尾之江 剛樹

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約		電子カルテサーバー及び各該当科、室及び課にて保存	診療に関する諸記録⇒電子カルテ独立サーバー内、患者ID別管理。 紙ベースについては下記の通り (旧診療録等：カルテ保管庫, 患者ID別) (処方せん：薬剤科倉庫, 発行日別) (他諸記録：各部署保管庫, 患者別日別)
病院の管理及び運営に関する諸記録	共同利用の実績	企画課	年度別（年間）ファイル
	救急医療の提供の実績	企画課	年度別（年間）ファイル
	地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績	管理課	年度別（年間）ファイル
	閲覧実績	管理課	提出申請書（日付別）ファイル
	紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績の数を明らかにする帳簿	企画課	電子カルテ内パソコン管理による帳簿出力

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。



(様式例第17) 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

閲覧責任者氏名	事務部長 森 幸一
閲覧担当者氏名	庶務係長 高野 めぐみ
閲覧の求めに応じる場所	管理課庶務係
閲覧の手続の概要 ①情報公開窓口による十分な相談・案内 ②情報公開窓口へ開示請求の申し出 ③開示請求手数料の納付 ④開示請求の受理 ⑤開示・不開示の審査 ⑥開示（閲覧・謄写）	

前年度の総閲覧件数		0件
閲覧者別	医師	0件
	歯科医師	0件
	地方公共団体	0件
	その他	0件

(様式例第18) 委員会の開催の実績

委員会の開催回数	2回	
委員会における議論の概要		
<p>平成30年5月30日 地域医療支援病院運営委員会</p> <p>①現況報告</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 地域医療支援委員会運営規程</li><li>・ 地域医療支援病院紹介率・逆紹介率の推移</li><li>・ 救急患者取扱件数</li><li>・ 高額医療機器共同利用の実績</li><li>・ ドクターヘリ受入状況</li><li>・ 研修会実績</li><li>・ 開放型登録医の登録状況</li></ul> <p>②質疑応答</p> <p>平成30年11月20日 地域医療支援病院運営委員会</p> <p>①現況報告</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 地域医療支援委員会運営規程</li><li>・ 地域医療支援病院紹介率・逆紹介率の推移</li><li>・ 救急患者取扱件数</li><li>・ 高額医療機器共同利用の実績</li><li>・ ドクターヘリ受入状況</li><li>・ 研修会実績</li><li>・ 開放型登録医の登録状況</li></ul> <p>②質疑応答</p>		

(注) 委員会の開催回数及び議論の概要については、前年度のものを記載すること。

# 鹿児島医療センター地域医療支援病院

## 第 17 回 運営委員会議事録

【日 時】平成 30 年 5 月 30 日(水)18:00~18:30

【場 所】城山観光ホテル 4 階 ムーンライト

【出席者】野村 秀洋 (鹿児島県医師会副会長)

新名 清成 (鹿児島市医師会副会長)

上野 泰弘 (鹿児島県薬剤師会会長)

大野 達郎 (学識経験者)

安樂 剛 (鹿児島市消防次長)

土井 由利子 (鹿児島市保健所長)

田中 康博 (鹿児島医療センター院長)

中島 均 ( " 副院長)

松崎 勉 ( " 統括診療部長)

城ヶ崎 倫久 ( " 臨床研究部長)

森 幸一 ( " 事務部長)

木佐貫 涼子 ( " 看護部長)

事務局(藺田正浩、副島一隆(司会)、田上さとみ、佐伯勇輔、吉留由希乃、

水元玲子、前田曜佑(議事))

### 【議事内容】

#### 1. 院長挨拶

委員の皆様、ご多忙のところご出席いただきありがとうございます。昨年 7 月から前任の花田の方から私田中の方が引き継いでおります。4 月から通信病院からの機能移転もありまして、新しく東 8 階病棟を作らなければならなくなりました。そのために、下の東 7 階病棟まで閉鎖しなくてはならない状況になりました。その時季がインフルエンザの流行と重なり、病棟の運営が上手くいかなかった所があります。4 月になりまして、370 床から 410 床になり、新しく運営を始めたところです。まだまだ、連携が潤滑にいてないところがあり、立ち上がりももうひとつのところではあります。患者数は増加しているが、まだ努力が必要であると思っております。二つの病院というのは地域支援病院ということで、地域で診療されている先生方に関してお互い連携をしていくことが大事であると思っております。そうゆうことで、今回懇親会を計画したところ、院内を含め 300 名を超える会になる予定です。非常に皆様に関心を持っていただいて非常にありがたいと思っております。いろいろなご意見を忌憚なく言っていただき、そちらを参考に努めておりますので今後ともよろしくお願い致します。

## 2. 委員長挨拶

皆さんこんばんは。お忙しいところお集まりいただきありがとうございます。今年度も委員長をご指名いただき大変光栄に存じます。まず最初に今、田中院長からありましたように、平成 30 年度を迎えられ 370 床から 410 床と機能的にも大きくなり、まだまだスタート時における意見があろうかと思われませんが、昨年度までの、いわゆる病院の役割機能に対する評価が、DPC が第 2 群に指定されたのは素晴らしい評価であると思います。昨年までの DPC の係数が 1.3490 であったのが、今年度から 1.4111 ということで、素晴らしいことであると思います。鹿児島県の医療をリードしていくためには、人材の育成というのは大きな役割の一つでありまして、それに一昨年度から研修医の獲得に努力をされておりまして、12 名そして今度は 15 名フルマッチということで合計 27 名の研修医が活躍しております。こちらも素晴らしいことであり、鹿児島医療センターは鹿児島県における医療機関としての最先端をいっておられ、その地域医療支援病院の委員会の長をさせていただくのは光栄に思います。今年度もよろしくお願い致します。

## 3. 地域医療支援病院の現況報告

ありがとうございました。それでは引き続き事務局より進行させていただきます。4 月より以前担当しておりました大坪の後任の副島と申します。よろしくお願いいたします。それではお手元の運営委員会資料冊子をご覧ください。(副島経営企画室長)

### ① 地域医療支援病院運営委員会規程

始めに運営委員会規程になります。資料の 1 頁です。昨年からの変更点はございません。特に何もご意見がなければ次に進めさせていただきます。

### ② 地域医療支援病院紹介率・逆紹介率(平成 25 年度～29 年度)

月別患者紹介率及び逆紹介率(平成 25 年度～29 年度)

続きまして資料 3 頁からです、グラフをご覧ください。紹介率・逆紹介率の推移のグラフになります。赤い折れ線グラフが平成 29 年度になります。当院の地域支援病院の要件として、他の医療機関からの紹介率が 80%以上または、紹介率 65%以上かつ逆紹介率 40%以上または、紹介率 50%以上かつ逆紹介率 70%以上となっておりますが、要件を満たしている状況です。

### ③ 救急車搬送数及び救急患者取扱件数(平成 25 年度～29 年度)

7 頁が救急患者数の状況です。年度の救急搬送数についてですが、各月平均 150 件程度で推移しております。平成 29 年度に関して患者数が多い診療科については、脳血管内科が 28%、救急科が 20%、第一循環器内科、第二循環器内科いずれも 16～17%となっております。8 頁から 11 頁から各科の救急患者の取扱件数となります。

12 頁からにつきましては、時間帯別の、時間内、時間外、深夜、休日の各区分帯毎の救急車の受入状態を示しており、全診療科、循環器・心臓血管外科、脳血管内科・脳神経外科、その他で分けて示しております。

13 頁、14 頁に関してはグラフに示したのようになります。

上記における質疑等

●第二循環器と心臓血管外科が極端に少なくなっておりますが、実は今救急科で第二循環器科の田中秀樹先生を専属にしておりますのでそれが原因で少なく見えております。また、救急科についてですが、救急科の件数は全て救急科で受けて診療までしているというわけではありません。病棟の統計と外来の統計と少し違います。(田中院長)

○この時代にこれだけの患者さんを維持されるのは、救急体制を変えられ、夜間でも救急を断らない、24 時間受け入れられる体制の現れではないかと思われまます。(野村鹿児島県医師会副会長)

○消防局での救急搬送件数についてですが、平成 28 年度は 1,466 件、平成 29 年度は 1,520 件と救急車の搬送を多く受け入れられている状況です(安楽鹿児島市消防次長)

●当院は規範となる医療を今年のテーマとしております。救急に関しては気持ちよく受けなければ、今後の運営に支障をきたす恐れがあります。そこについて、当院の救急科の田中は理解しております。(田中院長)

#### ④ 大型医療機器共同利用の実績(平成 22 年度～29 年度)

15 頁は大型医療機器の共同利用の状況です。当院の保有する医療機器を他の医療機関の紹介患者さんのために利用している、その利用状況になります。利用件数も年々増加しており。当院の大型機器も近隣の医療機関に利用していただいている状況です。

#### ⑤ ドクターヘリ件数(平成 26 年度～29 年度)

16 頁か 19 頁になります。16 頁が 28 年度の実績になります。年間 60 件の一月平均 5 件となっております。診療科別は下の表をご参照ください。17 頁は搬送種別・男女比・年齢別・転帰・疾患別となっております。18 頁から 19 頁からは 29 年度の実績になります。一月平均は 4.3 件となっております。診療科別は下記表をご参照ください。

上記における質疑等

●ドクターヘリに関しましては、平成 28 年が 38 件、平成 29 年が 60 件と推移しております。当院は場所の関係でヘリポートが作れない状況です。そのため、ドクターカーを当院で準備し浜町ヘリポートまで迎えに行っている状況です。ドクターヘリ及びドクターカーを受入れは断らないよう努めております。ヘリポートに関しては今後建て替えの際に検討したいと思っております。(田中院長)

○搬送種別の現場出動と施設間搬送はどのような意味ですか。(大野学識経験者)

●現場出動はドクターヘリが現場から当院に直接搬送の場合、施設間搬送は他病院から当院へ搬送される場合です。よくある疾患としては大動脈解離や急性心筋梗塞等です。(田中院長)

○鹿児島医療センターは高度専門医療機関の役割を担っているため、ドクターヘリのコン

ロールは市立病院で行っているが、市立病院の機能を上回るような高度な専門医療が必要な場合は鹿児島医療センターに搬送する形態になっております。一見少ないように見えますが、これだけ重症な患者を受け入れているということになります。(野村鹿児島県医師会副会長)

⑥ 地域の医療従事者向け研修実績(平成 28 年度～29 年度)

20 頁が 28 年の実績になります。内容としましては認定看護師の出前講座が多いです。放射線科が集まって CT の勉強会や、医師が集まって勉強会等です。その他は市民等を対象とした公開講座になります。今年度は 5 月に公開講座を実施しております。

⑦ 登録医一覧(平成 30 年 4 月 1 日現在)

最後 22 頁からが現在開放型病院として登録頂いている、登録医の先生方の名簿になります。前回 111 件の病院の先生方に登録頂いている状況です。随時更新していきたいと思っております。

事務局からの報告は以上になります。内容につきまして、ご意見・ご質問等あればよろしくお願ひします。

4. 質疑応答等

○これから先にしろ、今までにしても、いわゆる病床稼働率にしろ平均在院日数にしろ医事するためには救急の役割は大きいです。救急の専門医師を数人配置し交代でおこなわなければ 24 時間対応は難しいと思ひます。それを対応されているの素晴らしいと思ひました。研修医の先生方も大変勉強になると思ひます。(野村鹿児島県医師会副会長)

●ありがとうございます。他にご意見等ござひますでしょうか(副島経営企画室長)

<なし>

【閉会】

これもちまして、第 17 回地域医療支援病院運営委員会を閉会致します。本日はありがとうございました。(副島経営企画室長)

# 鹿児島医療センター地域医療支援病院

## 第 18 回 運営委員会議事録

【日 時】平成 30 年 11 月 20 日(火)18:00~19:00

【場 所】鹿児島医療センター 会議室

【出席者】土井 由利子 (鹿児島市保健所長)

上野 泰弘 (鹿児島県薬剤師会会長)

中園 豊明 (鹿児島市消防局長)

大野 達郎 (学識経験者)

田中 康博 (鹿児島医療センター院長)

中島 均 ( " 副院長)

松崎 勉 ( " 統括診療部長)

城ヶ崎 倫久 ( " 臨床研究部長)

森 幸一 ( " 事務部長)

木佐貫 涼子 ( " 看護部長)

事務局(藺田正浩、副島一隆(司会)、田上さとみ、前田曜佑(議事))

### 【議事内容】

#### 1. 院長挨拶

委員の皆様、本日はご多忙のところご出席いただきありがとうございます。当院は循環器、脳血管の3次救急を目的として行っております。また、がんに対しても外科的治療や内科的治療を行っております。地域支援病院として規範になる医療を提供することを目標に職員一丸で取り組んでおります。また、いろいろ人から評価していただき、それを参考にしながら、少しでも良い病院になるよう一歩でも二歩でも進めていきたいと思っております。

話は変わりますが、先日、国立病院機構の赤字についての記事がありました。機構全体で最大 550 億黒字になった時もありましたが、診療報酬改定で厳しくなっており、2年前が赤字、昨年が半分位の 40 億位の赤字でした。今年度は上半期終わった時点で全体を通して黒字になる予定となっております。当院につきましては、収支率が 98%となって厳しい状況であります。ただ、他の所と違うところですが、皆さん国立病院というのは国からの補助金があるという風に思っている方もおりますが、今は一切ありません。逆に全体の収益に対して、150 億という公経済負担金とう年金の基になるものを納めている状況であります。補助金ゼロという状態で自分たちで新しい医療機器を購入して高度な医療を提供しており、独立採算制で厳しい状況であります。本日はいろいろなご意見を忌憚なく言っただき、そちらを参考に努めておりますので今後ともよろしく願い致します。

#### 2. 委員長挨拶(委員長欠席のため省略)

### 3. 地域医療支援病院の現況報告

今回、委員長であります、県医師会会長の野村先生があいにく欠席でありますため、早速ではありますが現況報告に移らせていただきます。よろしく願いいたします。それではお手元の運営委員会資料冊子をご覧ください。(副島経営企画室長)

#### ① 地域医療支援病院運営委員会規程

始めに運営委員会規程になります。資料の 1 頁及び 2 頁です。昨年からの変更点はございません。

特に何もご意見がなければ次に進めさせていただきます。

#### ② 地域医療支援病院紹介率・逆紹介率(平成 26 年度～30 年度)

月別患者紹介率及び逆紹介率(平成 26 年度～30 年度)

続きまして資料 3 頁からです、グラフをご覧ください。紹介率・逆紹介率の推移のグラフになります。赤い折れ線グラフが平成 30 年度になります。平成 30 年度から大幅に数値が増えておりますが、こちらは地域支援病院の要件の中で率を計算する際に、今までは複数診療科を受診する患者の分それぞれカウントしていたものを今回より1人1カウントで計算するようにしたためであります。地域支援病院の要件としては満たしている状況です。

#### ③ 救急車搬送数及び救急患者取扱件数(平成 26 年度～30 年度)

7 頁が救急患者数の状況です。年度の救急搬送数についてですが、各月平均 150 件程度で推移しております。平成 30 年度に関して患者数が多い診療科については、第一循環器、第二循環器、脳血管内科であります。救急科に関しては全体の 20%程の数値となっております。また、補足になりますが、当院が平成 28 年 11 月から心臓病・脳卒中救急センターを立ち上げ、第二循環器の医師が救急科の専属医師となったため、第二循環器の数値が減っていますが、その分が救急科に推移しているためであります。

8 頁から 11 頁から各科の救急患者の取扱件数となります。それぞれにつきましてはまず循環器科・心臓血管外科について、例年並みの推移となっております。次に脳血管内科・脳神経外科について、例年冬場が患者数が多いですが、今年度は夏熱中症で運ばれる患者が多かった等の影響で夏場に患者数が伸びている状況です。

12 頁からにつきましては、時間帯別の、時間内、時間外、深夜、休日の各区分帯毎の救急車の受入状態を示しており、全診療科、循環器・心臓血管外科、脳血管内科・脳神経外科、その他で分けて示しております。

13 頁、14 頁に関してはグラフに示したのになります。

#### ④ 大型医療機器共同利用の実績(平成 23 年度～30 年度)

15 頁は大型医療機器の共同利用の状況です。当院の保有する医療機器を他の医療機関の紹介患者さんのために利用している、その利用状況になります。利用件数も年々増加しており、平成 30 年度に関しては全体で月 200 件程度の推移となっております。当院の大型機器も近隣の医療機関に利用していただいている状況です。



上記における質疑等

○共同利用とはどうゆうものですか(大野学識経験者)

●当院の保有する医療機器を用いて他の医療機関の患者さんを撮影等行い、検査結果等の情報を提供して おります。(副島経営企画室長)

○共同利用については地域支援病院の要件はありますか。(大野学識経験者)

●件数について要件はなく、設備、体制を整備することとなっております。(田中院長)

⑤ ドクターヘリ件数(平成 26 年度～29 年度)

16 頁から 19 頁になります。16・17 頁が 29 年度の実績になります。年間 51 件の一月平均 4.3 件となっております。診療科別は下の表をご参照ください。17 頁は搬送種別・男女比・年齢別・転帰・疾患別となっております。18 頁から 19 頁からは 30 年度の実績になります。10 月現在で合計 30 件、一月平均は 4.3 件となっております。診療科別は下記表をご参照ください。

上記における質疑等

○ドクターヘリの搬入状況はどうですか。(大野学識経験者)

●当院はヘリポートがないため、浜町のヘリポートまで当院のドクターカーで迎えに行っております。件数としては多いと思っております。(田中院長)

○ドクターヘリの患者は救急患者の数には入らないのですか。(大野学識経験者)

●総数の中には入っております。(副島経営企画室長)

⑥ 地域の医療従事者向け研修実績(平成 29 年度～30 年度)

20 頁が 29 年の実績になります。放射線科が集まって CT の勉強会や、医師が集まって勉強会等です。看護師向けのエキスパートナーズ研修等があります。その他は市民等を対象とした公開講座等がございます。

上記における質疑等

○参加者の数や参加者の意見等がありますでしょうか(土井保健所長)

●今回は人数や参加者のご意見等につきまして準備しておりません。次回以降にご報告できるよう準備しておきます。(副島経営企画室長)

●心臓病・血管病市民公開講座につきましては、毎年約 500 名以上の参加をいただいております。城山循環器カンファにつきましては約 20～30 名の参加をいただいている状況です。(中島副院長)

●今年から地域緩和ケア研修会というものを始めておりまして、参加者が約 80～90 名の参加で好評で今後も続けていきたいと思っております。がん市民公開講座に関しましては今年他は公開講座等と重なり少なかったですが、例年 250 名程の参加です。(松崎統括診療部長)

●エキスパートナーズ研修につきましては 15～20 名の各医療機関の看護師が参加しており

ます。数を少なくして集中して取り組んでおります。(木佐貫看護部長)

●例年数を記載しているのですが、今回抜けておりました申し訳ございません。(菌田循環器内科部長)

⑦ 登録医一覧(平成 30 年 11 月 1 日現在)

最後 22 頁からが現在開放型病院として登録頂いている、登録医の先生方の名簿になります。前回 111 件の病院の先生方に登録頂いている状況です。随時更新していきたいと思っております。

事務局からの報告は以上になります。内容につきまして、ご意見・ご質問等あればよろしくお願ひします。

4. 質疑応答等

○三本柱以外で何か充実しているものがございませうでしょうか。(大野学識経験者)

●三本柱以外でも耳鼻科の頭頸部がんの手術や皮膚腫瘍科・皮膚科の悪性黒色腫等の治療等も全国的に突出しております。また、血液内科で悪性リンパ腫もあります。今年からは鹿児島通信病院から機能移転で消化器については今後強化していきたいと思っております。また腎臓内科について、鹿児島県は血液透析の率が非常に高くなっている。腎臓内科の医師にきてもらい今後充実していく予定であります。また、眼科も新設し、糖尿病の患者に対して白内障の診察をしてもらったりと充実してきております。他にも泌尿器科の前立腺がんなども行っております。また TAVI の治療も行っており、適応対象年齢が 85 歳以上の患者で現在 70 件程行っております。不整脈のカテーテルアブレーションの治療も月 20~30 例行っております。鹿児島県では非常に多い件数ではないかと思ひます。また、地域支援病院として、教育や研修等に力を入れており、研修医につきましては 15 名の定員に対して 30 名の応募があり、若い医師が希望しており嬉しく思ひます。若い世代の医師を育てるのが当院の使命だと思っております。(田中院長)

●ありがとうございます。他にご意見等ございませうでしょうか(副島経営企画室長)

<なし>

【閉 会】

これをもちまして、第 18 回地域医療支援病院運営委員会を閉会致します。本日はありがとうございました。(副島経営企画室長)

(様式例第19) 患者相談の実績

患者相談を行う場所	相談窓口 相談室・その他 ( )
主として患者相談を行った者 (複数回答可)	医療社会事業専門員、看護師、臨床心理士
患者相談件数	21,562件
患者相談の概要	
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 退院支援に係る相談</li><li>・ 介護保険サービスに係る相談</li><li>・ 福祉サービスに係る相談</li><li>・ 身体障害者手帳関係に係る相談</li><li>・ 生活保護制度に係る相談</li><li>・ 医療費に係る相談</li><li>・ がん相談</li><li>・ 心理面での相談</li><li>・ その他</li></ul> <p>対応内容</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 医療従事者及び患者・家族の依頼により面談を行い、社会保険制度の説明や手続き方法の指導、関係医療機関との調整</li><li>・ 退院後の受療や在宅の支援</li><li>・ 診療科の案内</li><li>・ がんに対する問い合わせ</li><li>・ セカンドオピニオンに関する問い合わせ</li><li>・ カウンセリング</li></ul>	

(注) 患者相談の概要については、相談内容を適切に分類し記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。また、個人が同定されないよう配慮すること。

(様式第 20)

その他の地域医療支援病院に求められる取組みに関する書類（任意）

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	有・無
・評価を行った機関名、評価を受けた時期 公益財団法人日本医療機能評価機構 2013年2月受審 公益財団法人日本医療機能評価機構 2018年2月再受審	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有・無
・情報発信の方法、内容等の概要 院内掲示 ホームページ 地域医療機関への広報誌	

3 退院調整部門

① 退院調整部門の有無	有・無
・退院調整部門の概要 病棟と連携し、入院早期から支援の必要な患者・家族への介入や、患者・家族の意思決定にむけた支援を行い、退院後の適切なケア活用に向けた専門的支援を行う。退院、転院に関する情報提供。関係施設との連携。	

4 地域連携を促進するための取組み

① 地域連携クリティカルパスの策定	有・無
・策定した地域連携クリティカルパスの種類・内容 脳卒中地域連携クリティカルパス がん地域連携クリティカルパス ・地域連携クリティカルパスを普及させるための取組み 年3回の勉強会	